



蔵福寺島周辺の航空写真



石垣を使って家を高い位置に造ってあるのは、かつてここを流れていた物部川の増水から家を守るため。



昔の物部川をはさんで蔵福寺島の向いの河原にあった川原神社



今ではみるごとのなくなった米蔵の内部



水路から家の敷地内に水を引き込んで利用した「汲み池」。すっから珍しくなりました。



昔はここを物部川が流れていたそうです。



集落の南方、この辺りに蔵福寺があったらしい。



蔵福寺島にて

まだお正月気分が抜け切らない一月初め、新しく南国市となった蔵福寺島地区を訪ずれた。この日は朝から風もなく、太陽の光が暖かい。福船から奥道前浜植野線を東に折れるとタイムスリップでもしたかのような感覚にさせられる古い家並みの集落に行き着く。



「昔は蔵福寺島地区の西側を物部川が流れていたんですよ。福船から渡し船で行き来していたんですよ」と地元の人。確かに福船には船渡という地名がある。さらに、蔵福寺というからにはお寺がありそうなものだが、付近にはそれらしいものがないので聞いてみるとかつては集落の南の外れに、蔵福寺があったとのこと。物部川の度重なる氾濫によって、一度立田まで流され（立田青年の家の北東にも蔵福寺がある）、その後再び、



新しい住宅と古い蔵などが一緒に建っています。

現在の位置、田村まで流されたというところらしい（奥道の野試合で知られる蔵福寺のこと）。



地区内には、築二百年も経とうかという古い蔵や家と新しい住宅が隣り合っている。その対比が独特の雰囲気を出している。住んでいる人たちの気さくな対応、調べると、何かおもしろい言い伝えなんかが残っている感じが、これが蔵福寺なんだと思った。